

議会報告会質疑応答記録

記録作成：議会基本条例推進委員会

○開催日時：平成 27 年 10 月 31 日（土）10 時 00 分～12 時 00 分

○開催場所：町民センター2C クラブ室

○参加者：9 名

○主催者側：議員（14 名）、議会事務局（3 名）

- 次第
- ①挨拶（添田議長）・自己紹介（議員全員）
 - ②決算の概要と審査内容について説明 …決算審査特別委員長（根岸副議長）
 - ③常任委員会の調査事項について説明
 - …総務建設経済常任委員長（桑原議員）
 - …教育福祉常任委員長（小笠原議員）
 - ⑤上記②・③の説明に対する質疑応答
 - ⑥意見交換会（テーマごと座談会）
- *②・③は当日配布資料に基づき説明を行った。

<議会報告②③に関わる質疑応答>

参加者：健康長寿の議会活動には高齢者という言葉を入れてほしい。健康長寿をもっとも身近に感じている老人会を支援するような具体性があるといい。

小笠原教育福祉常任委員長：説明不足で申し訳なかったが、老人会には総合型地域スポーツクラブ設立前にお話しする。老人会では結構スポーツをしているが、総合型地域スポーツクラブには組織に入らなくても個人で参加できるというメリットがある。

参加者：老人会に入らない人がこういうところに来ないであろう。車椅子の人とか、膝が痛くてもできるニュースポーツなどを普及させようと思っている。そういうところを議会も一緒にやってくれれば、成果が上がる。ぜひ老人会と協力して、コンタクトをとってやって欲しい。

参加者：財政のグラフがあった投資的経費だが、投資効果を指数で把握しているのか。例えば吾妻山に投資して、その結果が何に寄与したのか、人数に寄与したのか、定量的にわかるのか聞きたい。

添田議長：費用対効果の話だと思うが、議会でもよく質問するが明確な答えはない。しかし、観光事業への投資は定住促進への副次的効果も考慮している。

参加者：7 ページ、公共施設の分析をグラフ化していてわかりやすい。この中に地域の集会施設等がないが、どうなっているのか。

添田議長：説明を忘れていたが、この委員会は 65 公共施設を学校施設、地域集会施設・公会堂・防災コミュニティセンターの集会施設及びスポーツ施設・庁舎等の 3 つに

分類している。今回見せたのはスポーツ施設と、庁舎等のみの資料。調査していく中で、学校施設というのは人口減少に伴って、学校の統合、小中一貫等を個別に考えなければならないということで、教育福祉常任委員会で扱っている。地域集会施設は地区長連絡会で研究課題として 2 年間調査している。結果としては「問題は分かった。町が主導してやるなら、町がある程度の考えを出せ。」ということだった。また、施設の利用状況を標準化して議論をするに至らなかった。平成 26 年度に浜銀総合研究所に施設のカルテ作成をするために調査を予定していたが、結果的にうまくできていない。総務建設経済常任委員会ではその結果を見て検討したかった。

参加者： いつ、どういう形で議論するのか分からないが、町内の公共施設をどうするのかというのは避けて通れない。耐用年数と利用率、それに地域にどう点在しているのかとか、地域性もあるので客観的に見られるようにするべきだ。どうしていくかは町民に具体的に提案しなければいけないのだから、その情報を町民に開示していくことが必要ではないか。そのほうが議会と協力が得られるはずだ。

添田議長： 提言書を出すことで議論が高まる。議論になるようなアイデアを出していかなければならない。地域集会施設については議会としても注視してやっていきたいと思っている。

(以上の質疑応答の後、テーマごと座談会)